

エココミュニケーション 環境教育・環境情報発信活動

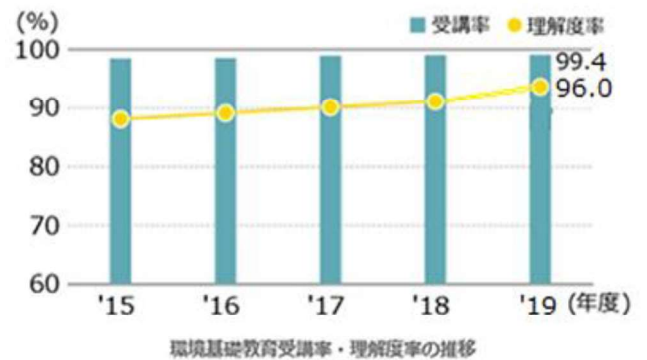
環境基礎教育

当社グループ（国内向け）の環境教育は、教育体系を一般教育と専門教育に分けて実施しています。一般教育では、当社グループ従業員として必要な環境基礎知識の教育をeラーニングなどで国内全員に実施。専門教育では、職務に必要な専門的環境知識の教育を職能別（開発・設計・営業・製造）に特化した内容で実施し、またISO14001・ISO19011に関する教育は、その仕組みの理解や内部監査員養成を目的としています。

教育名	目的	2020年度目標
一般教育	環境への意識と知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●環境基礎教育（当社グループ国内全従業員対象） ●階層別教育（新入社員、新任役職者）
専門教育 ISO14001 ISO19011	職務に必要な環境知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> ●開発・設計・営業部門環境教育 ●営業実務者環境教育 ●製造部門環境教育
	<ul style="list-style-type: none"> ●ISO14001・ISO19011の仕組みの理解 ●内部監査員の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ●ISO14001基礎教育 ●ISO19011教育 ●内部監査員教育

2019年度実績

新入社員・新任役職者および営業部門向けに環境問題の最新状況や環境法令などの一般教育を実施しました。また、当社グループ国内全従業員を対象とした環境基礎教育（eラーニング）は、各部門の環境活動において全員の受講を目的・目標としている場合が多く、2011年度のスタート以来、年々受講率が上昇しています。受講者へのアンケート結果からこの教育の有効性を確認し、次回の教材へフィードバックしています。



！ 環境教育 受講者の声

- 質の高い定期的な環境教育は、地域における環境学習の推進に大変有効であり機能している。また、離れた場所でも学習できることや、自身のペースに合わせて学習できることも有難いです。本教育は大変有効であると思います。
- 地球温暖化による異常気象、本当に恐ろしいと思いますし深刻な状況を把握できました。環境保全は他人事ではなく、個人はもちろん、企業としても取り組むべき重要課題であることに気づきました。
- 毎年異常気象と真夏の猛暑が当たり前となり、子どもの頃からの数十年の気候変動から、待たなしの状況を身に染みて感じている。地球温暖化を食い止める努力をしないといけないと改めて思いました。個人の力は小さくとも、会社全体で力を合わせ、環境保全に貢献する必要があると思いました。

環境情報の発信

「環境情報開示基盤整備事業」への参加

環境省主催の「環境情報開示基盤整備事業」は、近年の ESG(環境・社会・統治)情報開示要求の高まりに対し、この事業に参加している企業とステークホルダーとの対話の仕組みです。当社は 2015 年からこの事業に参加し、環境情報の適切な開示に向けた取り組みを進めています。

ESG 格付機関への環境情報発信

ESG 投資と呼ばれる E 環境・S 社会・G 統治の要素を重視した投資が急増しています。投資家は、企業が ESG に取り組むことで長期的な企業価値向上や持続的成長につながり、その結果としてリターンを得られると考えています。投資家は財務情報のみならず、企業の ESG 情報を求めており、各種 ESG 格付機関も企業から ESG 情報を収集して投資格付を行っています。当社は各種 ESG 格付機関からの情報提供要請に対して、環境情報の積極的な発信を行っています。

ecovadis



Member of SNAM
Sustainability Index



DISCLOSURE INSIGHT ACTION